

2026 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 柔道整復スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|------------|-----------------|---|---------------|-----------------------|---------------------------|
| 科 目 名 | 外国語 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年生 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 第2校舎302 |
| 担 当 教 員 | ILC講師 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 医療現場での英会話を想定し、会話に必要な英語による医療用語を学び、コミュニケーションを中心とした授業を行う。最低限の日常会話能力や講義内で使用される専門用語の理解に寄与する。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 筆記試験70、出席評価20、平常評価10 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 教科書:「医療英語コミュニケーション」. 特定非営利活動法人 医療・福祉英語検定協会 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 準備学習は特に必要ありませんが、医療分野での専門用語が出てくるため、その他の基本的な単語力や文法の理解力が足りていないと、授業についていくのが難しくなってきます。必要に応じて、事前にテキストに目を通して単語を確認しておく、授業後に分からなかった箇所を再確認しておくことをおすすめします。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter 1 受付で対象者と基本的な英語対応ができる。 | 医療英語コミュニケーション | | チャプター1 (pp.6-11)を事前に見ておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | オリエンテーション 受付に必要な語彙と表現の学習 Orientation, Introduction. Students will learn how to help patients fill out a clinical registration form and how to politely ask for medical and clinical information. | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter 2 病院案内において医療に特化した用語を理解でき、診療科名を言えるようになる。また病案内ができるようになる。 | 医療英語コミュニケーション | | チャプター2 (pp.12-17)を事前に見ておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 診療科名の学習 Giving directions: Students will learn how to give correct directional information in a hospital setting. | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter 3 基本的な体の部位の名称を英語で理解し、患者の症状や痛みなどを英語で正確に聴取し情報を収集できる。 | 医療英語コミュニケーション | | チャプター3 (pp.18-20)を事前に見ておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 体の部位、痛みの表現の学習 現在完了形を使用した期間の表現の学習 Anatomy and different types of pain: Students will learn English anatomy. They will also learn how to distinguish between a large variety of expressions, idioms and phrasal verbs that describe the many different feelings of pain in English. | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter 3 基本的な体の部位の名称を英語で理解し、患者の症状や痛みなどを英語で正確に聴取し情報を収集できる。 | 医療英語コミュニケーション | | チャプター3 (pp.20-21)を事前に見ておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 体の部位、痛みの表現の学習 現在完了形を使用した期間の表現の学習 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter 4 様々な患者の症状や痛みなどを英語で正確に聴取し情報を収集できる。 | 医療英語コミュニケーション | | チャプター4 (pp.24-29)を事前に見ておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 基本的な症状の表現("I have (a)...", "I feel", "I am", "...feels...", "...hurts")の学習 症状の問診の会話の学習 Symptoms and illness: Students will learn how to ask patients whether or not they are suffering from various symptoms and /or illnesses. | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|--|---|---------------|----------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter 5 問診1 患者に症状、家族歴、既往歴、継続期間を尋ねる(現在完了形) | 医療英語コミュニケーション | チャプター5(pp.30-35)を事前に見ておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 問診時に使用する重要英語表現の学習 Medical history: Students will learn how to politely ask patients about their and their family's medical history. | | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter 6 問診2(アレルギー・生活習慣)に関する様々な英語対応がスムーズにできる。 | 医療英語コミュニケーション | チャプター6(pp36-41)を事前に見ておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 生活習慣についての質問表現の学習 頻度の表現を使つての薬の処方学習 Allergies and health issues: Students will learn how to ask a patient about their alcohol consumption and smoking habits. They will also learn how to ask a patient about their allergies and whether or not they are presently taking medication. | | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter 7 内科1(身体測定・診察時の表現)に関する英語対応ができる。 | 医療英語コミュニケーション | チャプター7(pp.42-45)を事前に見ておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 身体測定の説明に必要な表現を学習する Internal medicine: explaining measurements and asking patients about their symptoms. | | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter 8 内科2(バイタルサインの測定)に関する基本的な英語対応ができる。 | 医療英語コミュニケーション | チャプター8(pp46-49)を事前に見ておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 測定時に必要な表現を学習する。 Vital signs: students will learn how to describe vital sign measurements to patients. | | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter 10 検査と処置 検査・処置時に関する基本的な英語対応ができる。 | 医療英語コミュニケーション | チャプター10(pp56-61)を事前に見ておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 血液検査の説明に必要な表現を学習する。 The students learn English expressions necessary for the blood tests. | | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chaper 12 整形外科・整骨院に関連する症状・処置に必要な表現・語彙を使えるようになる。 | 医療英語コミュニケーション | チャプター12(pp66-71)を事前に見ておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 骨・膝関節に関する語彙の学習 整形外科での診察に必要な会話を学ぶ The students learn expressions and vocabulary related to symptoms and treatments in orthopedic surgery and chiropractic care. | | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter13 リハビリテーションでの指示の出し方や質問ができるようになる。 | 医療英語コミュニケーション | チャプター13(pp72-77)を事前に見ておく |
| | 各コマにおける授業予定 | リハビリでの指示に必要な動きを表す語彙を学習する リハビリ時の会話の学習をする The students learn vocabulary and expressions for instructions in rehabilitation. | | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter14 リハビリテーション指導で必要な表現方法を学び、使えるようになる。 | 医療英語コミュニケーション | チャプター14(pp78-83)を事前に見ておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 装具・義肢の語彙を学ぶ 筋肉に関する語彙を学ぶ リハビリ時の会話の学習をする The students learn vocabulary that expresses movements necessary for instructions in rehabilitation. | | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Chapter18 カルテに出てくる用語・略語を学び、理解することができる。 | 医療英語コミュニケーション | チャプター18(pp100-104)を事前に見ておく |
| | 各コマにおける授業予定 | カルテで使用される略語と語彙を学ぶ The students learn abbreviations and vocabulary used in medical records. | | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 学期末試験の復習が自宅でもできるようになる Review | 医療英語コミュニケーション | 今ままで学習したチャプターと、ノートを確認しておく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 今まで学習をしたチャプターの振り返りをする。 | | | |